

2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年2月9日

上場会社名 株式会社ネットマーケティング 上場取引所 東
 コード番号 6175 URL <https://www.net-marketing.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 宮本 邦久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 三村 紘司 (TEL) 03-6894-0139
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の業績(2020年7月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	6,671	△13.9	247	△51.3	255	△50.1	172	△51.0
2020年6月期第2四半期	7,751	18.6	508	—	513	—	351	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2021年6月期第2四半期	11.65		11.47					
2020年6月期第2四半期	23.86		23.40					

(注) 2020年6月期第2四半期の営業利益、経常利益、四半期純利益の対前年同四半期増減率は100%を超えるため、「—」と記載しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	5,006	2,836	56.7
2020年6月期	4,977	2,753	55.3

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 2,836百万円 2020年6月期 2,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2020年6月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	14,400	0.3	400	△45.6	400	△46.5	270	△47.0	18.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2021年2月9日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年6月期2Q	14,796,800株	2020年6月期	14,796,800株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年6月期2Q	188株	2020年6月期	188株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年6月期2Q	14,796,612株	2020年6月期2Q	14,737,428株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料及び説明会内容の入手方法）

当社は、2021年2月26日（金）に機関投資家・証券アナリスト・報道機関向けに決算説明会（オンライン）を開催する予定です。決算補足説明資料は、2021年2月9日（火）に東京証券取引所「適時開示情報閲覧サービス」及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2020年7月1日から2020年12月31日まで)におけるわが国経済は、コロナウイルス感染症拡大の影響により、政府や自治体による個人消費を底上げする各種キャンペーン政策の中断や不要不急の外出自粛要請等に伴い、個人消費の冷え込みが懸念され、先行きが不透明な状況が続いております。

当社が事業展開を行う国内インターネット関連市場におきましては、スマートフォンやタブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化等により、インターネット利用人口は2019年の1年間で13歳～69歳の各年齢階層において9割を超えて利用され、人口普及率は89.8%(前年比10.0%増)と大幅に上昇しております(注)。また、FacebookやTwitter、LINEに代表されるソーシャルメディアの普及率は69.0%(前年比9.0%増)と年々上昇を続けております(注)。消費者がインターネット及びスマートフォンを利用する時間の拡大とともに、インターネットやスマートフォンに関連したサービスはさらなる市場拡大が期待されております。

こうした環境のもと、当社は、既存事業である広告事業及びメディア事業において重点課題に注力するとともに、企業全体のブランディングとステークホルダーに対する情報発信の強化を目的にホームページのリニューアルを実施いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は66億71百万円(前年同期比13.9%減少)、営業利益は2億47百万円(前年同期比51.3%減少)、経常利益は2億55百万円(前年同期比50.1%減少)、四半期純利益は1億72百万円(前年同期比51.0%減少)となりました。

(注) 出所：総務省「令和元年通信利用動向調査の結果」

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

①広告事業

広告事業は、アフィリエイト広告やソーシャル広告等の領域においてプロモーションの戦略立案から運用支援までを一貫して行うコンサルティングサービスを提供しております。

当事業においては、アフィリエイト広告におけるエステや人材関連等を扱う「サービス」カテゴリーが、エステの季節要因による減少に加えて、コロナ禍での人流や企業マインドの変化等により、当事業の売上高は43億17百万円(前年同期比19.6%減少)、セグメント利益は2億94百万円(前年同期比48.2%減少)となりました。

②メディア事業

メディア事業は、恋活・婚活マッチングアプリ「Omiai」を提供しております。

「Omiai」では、重点課題に掲げるサービスの認知拡大及びブランド力向上のため、ブランドアンバサダーである「のん」さんのOmiaiプロモーション動画をYouTube等で配信するとともに、サービスの信頼性向上を目指し、IMS認証取得に向けた準備を行っております(注)。また、ユーザビリティ向上に向けプラン価格の見直しや、オンラインデート機能の実装等のサービスの拡充に取り組んでまいりました。その結果、多くのユーザーにご利用頂き、2020年12月には有料会員数が8万5千人を突破いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は23億53百万円(前年同期比1.1%減少)、セグメント利益は2億83百万円(前年同期比19.0%増加)となりました。

(注) IMS:「特定非営利活動法人 結婚相手紹介サービス業認証機構」Institution for matchmaking service の略

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ29百万円増加し、50億6百万円となりました。これは主に売掛金の入金等により、売掛金が3億29百万円減少したものの、現金及び預金が3億35百万円増加したこと等によるものであります。

一方、負債合計は、前事業年度末と比べ54百万円減少し、21億70百万円となりました。これは主に前受け取引の増加等により、その他に含まれる前受金が2億48百万円増加したものの、買掛金が1億35百万円及び未払法人税等1億43百万円が減少したこと等によるものであります。

純資産合計は前事業年度末と比べ83百万円増加し、28億36百万円となりました。これは利益剰余金が配当によ

り88百万円減少したものの、四半期純利益の計上により1億72百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の55.3%から56.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末と比べ3億35百万円増加し、35億49百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、5億20百万円(前年同期比22百万円減少)となりました。これは主に、仕入債務の減少額1億35百万円、法人税等の支払額2億1百万円が計上された一方で、税引前四半期純利益の計上2億55百万円、売上債権の減少額3億29百万円及びその他に含まれる前受金が2億48百万円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、56百万円(前年同期は19百万円の使用)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出43百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億28百万円(前年同期は87百万円の使用)となりました。これは長期借入金の返済による支出39百万円及び配当金の支払額88百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2020年8月11日に公表いたしました2021年6月期の通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2021年2月9日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている当社の業績予想は、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,214,015	3,549,852
売掛金	1,198,906	869,099
その他	102,019	107,982
貸倒引当金	△9	△7
流動資産合計	4,514,932	4,526,927
固定資産		
有形固定資産	106,608	102,037
無形固定資産	45,308	78,222
投資その他の資産	310,683	299,460
固定資産合計	462,599	479,720
資産合計	4,977,532	5,006,648
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,262,867	1,127,175
1年内返済予定の長期借入金	80,032	40,036
未払法人税等	215,817	72,126
その他	665,789	930,691
流動負債合計	2,224,505	2,170,029
負債合計	2,224,505	2,170,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	408,329	408,329
資本剰余金	398,329	398,329
利益剰余金	1,946,203	2,029,794
自己株式	△135	△135
株主資本合計	2,752,726	2,836,318
新株予約権	300	300
純資産合計	2,753,026	2,836,618
負債純資産合計	4,977,532	5,006,648

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年7月1日 至2020年12月31日)
売上高	7,751,792	6,671,548
売上原価	5,248,204	4,454,028
売上総利益	2,503,588	2,217,520
販売費及び一般管理費	1,995,502	1,970,009
営業利益	508,086	247,511
営業外収益		
受取利息	13	15
受取手数料	3,241	—
受取報奨金	1,862	1,731
助成金収入	—	6,630
その他	393	309
営業外収益合計	5,509	8,686
営業外費用		
支払利息	347	153
為替差損	21	68
その他	3	3
営業外費用合計	371	224
経常利益	513,224	255,972
税引前四半期純利益	513,224	255,972
法人税、住民税及び事業税	162,457	62,661
法人税等調整額	△868	20,939
法人税等合計	161,589	83,601
四半期純利益	351,634	172,371

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	513,224	255,972
減価償却費	16,935	8,152
のれん償却額	—	5,256
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△2
受取利息	△13	△15
支払利息	347	153
売上債権の増減額 (△は増加)	759,487	329,807
仕入債務の増減額 (△は減少)	△683,948	△135,691
その他	△55,067	258,471
小計	550,960	722,103
利息の受取額	13	15
利息の支払額	△347	△150
法人税等の支払額	△7,219	△201,043
営業活動によるキャッシュ・フロー	543,407	520,925
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,317	△2,419
無形固定資産の取得による支出	—	△43,704
その他	△18,667	△10,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,985	△56,623
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△39,996	△39,996
配当金の支払額	△72,487	△88,468
新株予約権の行使による株式の発行による収入	24,622	—
自己株式の取得による支出	△34	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,895	△128,464
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	435,526	335,836
現金及び現金同等物の期首残高	3,043,817	3,214,015
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,479,343	3,549,852

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	広告事業	メディア事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,371,961	2,379,831	7,751,792	—	7,751,792
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	88,479	—	88,479	△88,479	—
計	5,460,440	2,379,831	7,840,272	△88,479	7,751,792
セグメント利益	568,001	238,067	806,068	△297,982	508,086

(注) 1. セグメント利益の調整額△297,982千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	広告事業	メディア事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	4,317,877	2,353,671	6,671,548	—	6,671,548
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	254,320	—	254,320	△254,320	—
計	4,572,197	2,353,671	6,925,868	△254,320	6,671,548
セグメント利益	294,253	283,218	577,471	△329,960	247,511

(注) 1. セグメント利益の調整額△329,960千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。